

公表

事業所における自己評価結果 児童発達支援

事業所名	ブランケット	公表日	令和7年4月30日
------	--------	-----	-----------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%		配置基準を満たしているが、外出などの行事では人手がほしくなることもある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・インカムの使用により、1,2階の情報共有を行っている。 ・個別机により、スペースの確保から集中して活動に取り組む様子が増えている	階段での移動になるため、バリアフリー化は難しいが活動内容の設定から合理的配慮ができています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	環境を分けた活動内容の設定により、 過ごしやすい環境構成を行っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	80%	20%	個別机はいつでも使用できる状態で配置しており、 児童が活動や学びの際に使用している。	個別机はあるが個別部屋の設置は難しい。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	80%	20%	自身で気付かない課題の共有もあり、 アプローチ方法の話し合いなどができている。	長期休暇になると時間の確保が難しいため、 業務改善の方法を検討する必要がある。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎朝、その日の活動等や業務内容についてのMTGを行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	40%	60%		第三者による外部評価は行っていないため、 今後を見据えて必要になるので検討中。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全スタッフごとに毎月更新される研修動画の受講を行っている。 また、年間で研修機会が多くありスタッフが1年間を通して 学んだことの発表をする機会もある。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	児童、保護者との日々の引継ぎの中でニーズ整理を行い、 モニタリングでは全スタッフが意見を伝えることで 個別支援計画書の作成を行っている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	ケース会議を通して再確認の機会から現状の支援について 振り返りを行い、支援内容の設定を行う。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	職員間での情報共有により、固定概念にとらわれないよう 別の視点でのアセスメントから、適応行動について考える 時間を設けている。	標準化されたツールの数は少ないので、 幅広い行動に対応できるようツールの強化が必要。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	役割分担を行い、行事の設定や活動内容の選択から他スタッフへの報告と確認を行うことで、同じ活動内容にならないよう工夫している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	上記同様	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	毎朝、その日の活動等や業務内容についてのMTGを行っている。	振り返りも含めると時間が足りず、事務作業に着手できないため、他の共有ツールなどを使用して時間の確保を行う必要がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	40%	60%		送迎や勤務時間の兼ね合いもあり、支援終了後に振り返りを行うことは難しいが、翌朝には行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	80%	20%	随時、近隣事業所などと情報共有を行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0%	100%	事業所の空き状況や内容などを子ども発達支援センターと連携しながら支援体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	60%	40%		事業所から園に情報共有を行う機会は少なく、保護者様伝えで行っていることが多い。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	60%	40%		上記同様
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	40%	60%	定期のモニタリングなどにより、近況の共有を行うことも多く、連携を図っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	40%	60%	近隣の保育園にお祭り行事の声掛けを行うことあり、交流する機会がある。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	40%	60%	年1回保護者会の開催を行い、そこで事業所の情報共有を行っている。	保護者会とは別に保護者交流会の企画をしたが、参加者がおらず流れた経緯もあり、日程調整に課題が残っている。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	80%	20%	個別懇談を実施し、ニーズ整理を行っている。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	80%	20%	希望に応じて、時間を設け相談を受けており、不安を取り除けるように助言、支援を行っている。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	60%	40%	年1回保護者会の開催を行い、そこで事業所の情報共有を行っている。	保護者会とは別に保護者交流会の企画をしたが、参加者がおらず流れた経緯もあり、日程調整に課題が残っている。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	保護者様が連絡を取りやすいように事業所のLINEアカウントを作り、早急に対応できる体制を整えている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	HPでお知らせの発信、Instagramで活動内容の報告を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20%	80%		個人情報の保護もあり、招待することは難しいが、BCPにも記載の通り、災害時に安全な場所として機能するために近隣に理解してもらう必要がある。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	随時、マニュアルの見直しから更新を行い、周知が必要なものは配布を行うなどして周知を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	80%	20%	LINE等ですぐに共有を行い、翌日の朝礼時に説明を行うなど共有は早急にできている。	共有はできているが改善策の徹底と定着ができていないこともあり、その後のフォローを定着させる必要がある。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	毎年、必ず研修を実施と委員会の開催を行う。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%			